

何れも炭鑛に重點を 内郷、好間の合併反對理由

町市制施行の隣接五ヶ村 合併問題は既述の如く第一 次交渉に對して早くも内郷 好間の二村が反對を表明し たので町では新方針を樹り し更に交渉を進める事とな り、明九は初委員會を開い て種々對策を協議する事と なつたが前記二ヶ村の反對 理由は、 （内郷）炭鑛が將來に於て 轉するやうな場合合併し て小島、御所、御台反對二ヶ村によつて及ぼす 環境の三大字が除かれた後三村の出様は各方面から に於ける村の衰微が甚し注目されて来た

昨日町村長會で 實施事項協議

第二次町村長會 動の趣旨徹底を期 す石城町村長會は昨七日午 前十時から町會議事室に 開き種々協議の結果左記 町村實施事項を來る十二日 以後に於て具体案を樹て 「清一」の行使徹底に努 むる事となつた

町村長會委員會開會、各
區人物懇談會、講演會、
學正同盟會の設置獎勵、
學校を通じての運動、會
社工場は各種團體と協
力、浦正デー祝賀祭、校
票當日の實施事項、浦正
スタンピング等

郡醫師總會 永月村△廿九日植田町

石城郡醫師總會は十二日（個所三十ヶ所）分併せ合
午後一時から町常備銀行計五十五萬圓の貸付工事施工
平支店に開き健康保險救済方を此種縣當局に申請、促
事業及一般庶務等の事務進行に努める事となつた

新春早々出來た 警陽野球向上案

十一日に審判協同總會

警陽野球審判協同總會は十從來の九チームの外に双中
一日午後四時から屋敷旅館馬場俱樂部（相中）の二チ
に開き功勞者表彰、本年度に於ける警陽野球聯盟に代つ
て五月下旬舉行の協定となつた

警陽野球向上案 十日二百四十餘名出席

優良店舗及従業員表彰

警陽野球審判協同總會は十日午前九時から同署
會室に組合員二百四十餘
名列席の下に開き柴田署長
の訓話其他協議、左記優良
店舗、優良助手、徒弟を表
賞する

高月學園の今昔

警中同窓會交歓また聴記
赤井 嶽 男

津輕海峽の時化で 上り急行運延

平驛からの乗客面喰ふ

目下津輕海峽は冬期時化期が近づいてゐる家庭もあ
るので毎日荒れ狂ひ青函連絡の此の方面の運送にも
給船は往復共難航を續けて向けるやう、この外就勞者
あるがこれがため六日前前望者はドシ／＼同所に登陸
十時青函發着警陽線より上野に運送されたと今日開かれた
行急行列車は又々大運延と
平驛から上野迄の乗客面喰ふ

滿洲から四十名 鞍山昭和製鋼所から

鞍山昭和製鋼所から

今八日平職業紹介所に滿洲
鞍山昭和製鋼所から職工四
十名その他各地から合計
約四千三百名の求人に接し
たので新年御始早々から
所員達は各方面に對し更に
發揚方を依頼するところあ
つてゐる

内郷の轢き逃げ 無免許助手と判る

運轉手の骨惜みが因

既報「内郷村御所日雇業江
川三郎（三）を轢き逃げし
た自働車につき平驛では昨
日の如く内郷村警察署で昨
日自働車部方運轉手尾藤三
助（三）大橋充（二）假名一を
引致取調中だったが昨日午
後同入等の仕事と判明した
當夜星は平町からの歸途
平町長橋近くの自宅前で
降り助手の大橋に運轉を
まかせたもので、大橋も理
解吉田忠雄（三）が轢二
日、翌日の二日に尋常中學
校の設置及縣補助を申請し
てその月十六日に福島縣
常中學校分設校設置及管
理の件が許され、引續き當
時の二學級から今日の二
々準備進行、三郡が合併し
て石城郡と改稱された二十
九年四月一日から開校され
同年六月試験の結果百六十
足凡斯功勞を三三六六六
の生徒を得同月二十七日
に授業を始め同時に寄宿舎
「尋常中學校分設校」を設
べし費用」を可決したので
その四月に日清戦争が終り
所謂「長押」に刀は鞘に、
其間實に四十年、その年
來た赤ん坊は生れ四吹き
の明治二十八年十月二十九
一歳、不惑を出る一歳と二
世とが同席して、一人

手長料理人 即決で懲役一年半

住居不定無職東京目黒區

住居不定無職東京目黒區
目黒四丁目二丁目生元元
三井家寄附 平町四
丁三井家一氏は亡父藤吉
翁の遺志により平町助成會
（五百圓）寄附
三井家寄附 平町四
丁三井家一氏は亡父藤吉
翁の遺志により平町助成會
（五百圓）寄附

關節の抜き 差し自由

平館の獵奇男

關節の自由な「バラ」の
「人間」田宮幸郎氏（元
日活俳優）が目下平館で
演じて評判だ
拳闘演技、部分變形の技
はグロテスク、元日活の役
に各地方を巡業しただけに
剣戟のスタンプも同氏獨
得、近き將來には現在の
劍戟の型を革新すると云
つてゐる

關内藥局

電話四〇番

緊張の 第二學期

今日から授業開始

學校に業を勵むものにとつ
て最緊張の總決算期である
第三學期は冬期休業して今
八日、前後十数日の冬休
業を終へて各中、小學校で
は始業式を行った、各小
校では式及び机を清める大
掃除を行ったのみで退校し
給船は往復共難航を續けて向けるやう、この外就勞者
あるがこれがため六日前前望者はドシ／＼同所に登陸
十時青函發着警陽線より上野に運送されたと今日開かれた
行急行列車は又々大運延と
平驛から上野迄の乗客面喰ふ

轉手古舞

所員連日の活動

既報「内郷村御所日雇業江
川三郎（三）を轢き逃げし
た自働車につき平驛では昨
日の如く内郷村警察署で昨
日自働車部方運轉手尾藤三
助（三）大橋充（二）假名一を
引致取調中だったが昨日午
後同入等の仕事と判明した
當夜星は平町からの歸途
平町長橋近くの自宅前で
降り助手の大橋に運轉を
まかせたもので、大橋も理
解吉田忠雄（三）が轢二
日、翌日の二日に尋常中學
校の設置及縣補助を申請し
てその月十六日に福島縣
常中學校分設校設置及管
理の件が許され、引續き當
時の二學級から今日の二
々準備進行、三郡が合併し
て石城郡と改稱された二十
九年四月一日から開校され
同年六月試験の結果百六十
足凡斯功勞を三三六六六
の生徒を得同月二十七日
に授業を始め同時に寄宿舎
「尋常中學校分設校」を設
べし費用」を可決したので
その四月に日清戦争が終り
所謂「長押」に刀は鞘に、
其間實に四十年、その年
來た赤ん坊は生れ四吹き
の明治二十八年十月二十九
一歳、不惑を出る一歳と二
世とが同席して、一人

手長料理人 即決で懲役一年半

住居不定無職東京目黒區

住居不定無職東京目黒區
目黒四丁目二丁目生元元
三井家寄附 平町四
丁三井家一氏は亡父藤吉
翁の遺志により平町助成會
（五百圓）寄附
三井家寄附 平町四
丁三井家一氏は亡父藤吉
翁の遺志により平町助成會
（五百圓）寄附

關節の抜き 差し自由

平館の獵奇男

關節の自由な「バラ」の
「人間」田宮幸郎氏（元
日活俳優）が目下平館で
演じて評判だ
拳闘演技、部分變形の技
はグロテスク、元日活の役
に各地方を巡業しただけに
剣戟のスタンプも同氏獨
得、近き將來には現在の
劍戟の型を革新すると云
つてゐる

關内藥局

電話四〇番

關内藥局

電話四〇番

關内藥局

電話四〇番

關内藥局

電話四〇番

關内藥局

電話四〇番

關内藥局

電話四〇番

關内藥局

電話四〇番

關内藥局

電話四〇番

關内藥局

電話四〇番

關内藥局

電話四〇番

關内藥局

電話四〇番

關内藥局

電話四〇番

關内藥局

電話四〇番

關内藥局

電話四〇番

關内藥局

電話四〇番

關内藥局

電話四〇番

關内藥局

電話四〇番

關内藥局

電話四〇番

關内藥局

電話四〇番

關内藥局

電話四〇番

關内藥局

電話四〇番

關内藥局

電話四〇番

關内藥局

電話四〇番

關内藥局

電話四〇番

關内藥局

電話四〇番

關内藥局

電話四〇番

關内藥局

電話四〇番

關内藥局

電話四〇番

關内藥局

電話四〇番

關内藥局

電話四〇番

關内藥局

電話四〇番

關内藥局

電話四〇番